

第5次総合計画主要プロジェクト骨子

1 拠点プロジェクト「(仮称) リリモテラス構想」

◎構想の概要

長久手古戦場駅前にまちの新たな顔として、広場と複合商業施設とで構成される「(仮称) リリモテラス」を整備して「集い」「憩い」「語らい」の場を創出し、周辺を含めて市街地の拠点として住民の日常の暮らしを支え、訪れる人をもてなす空間を創出します。

◎整備イメージ

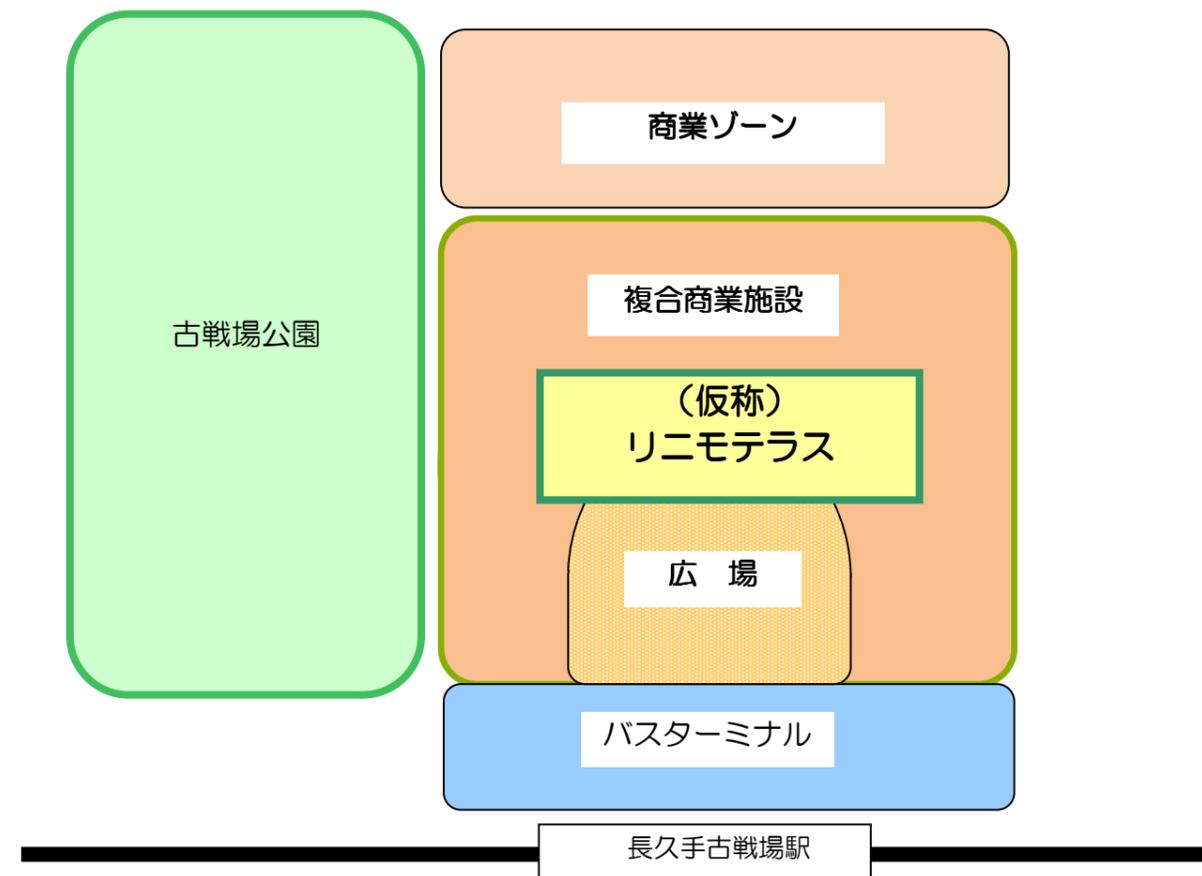
- ★「(仮称) リリモテラス」の整備
 - 「広場」及び広場を囲うように「複合商業施設」を配置する一体的施設
 - リリモと広々とした空を望む「広場」
 - ・イベントスペース、オープンカフェ
 - 住民の暮らしを支え、訪れる人をもてなす「複合商業施設」
 - ・店舗、健康・医療相談、住民サービスコーナー、観光インフォメーション、大学連携拠点
- ★バスターミナルの整備
 - リリモとNーバス等公共交通の接続を重視する施設
- ★隣接する古戦場公園との連携
 - 古戦場公園の再整備状況を踏まえて連携を検討

◎参考イメージ：広場と商業施設とが一体的に整備された先行事例

・ららぽーと東京ベイ「イベント広場」
(千葉県船橋市)



(仮称) リリモテラス構想 イメージ



広場の活用のイメージ

広場ではコンサートが開かれ、2階のテラスからも人々が覗いています。



2 “里山版”田園バレープロジェクト「(仮称)木望^{きぼう}の森構想」

◎構想の概要

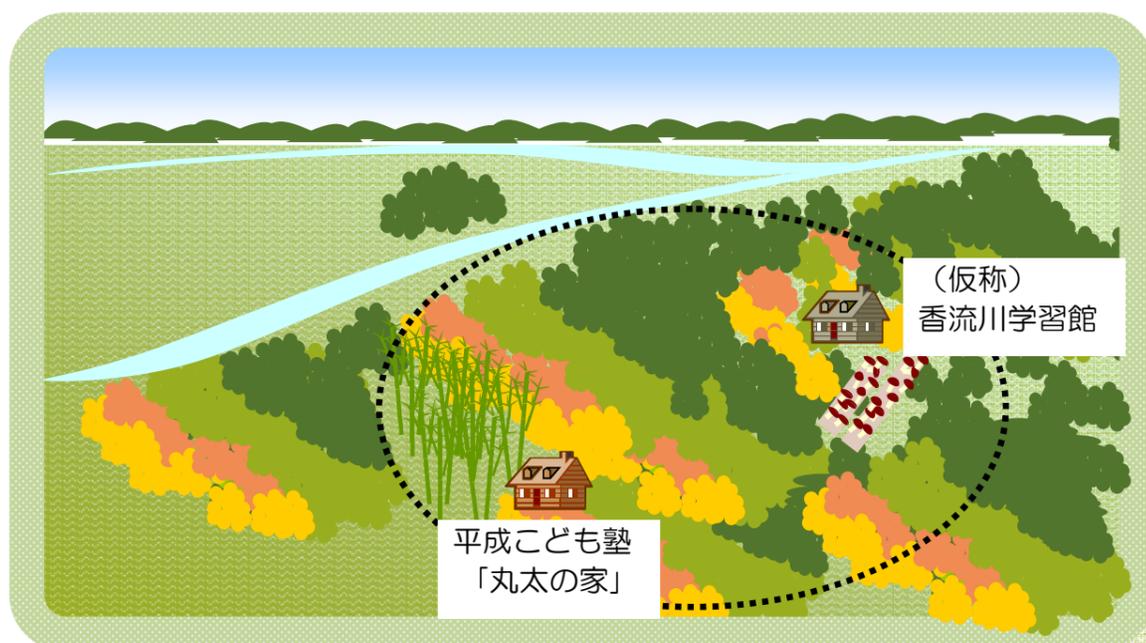
平成こども塾周辺約2haの森林や竹林を対象に、自然の中で行う様々な遊びや学びを通じ、次代を担う子ども達の創造性を育み、親子のきずなを深め、自然を育む「木望」の森を創出します。

◎整備イメージ

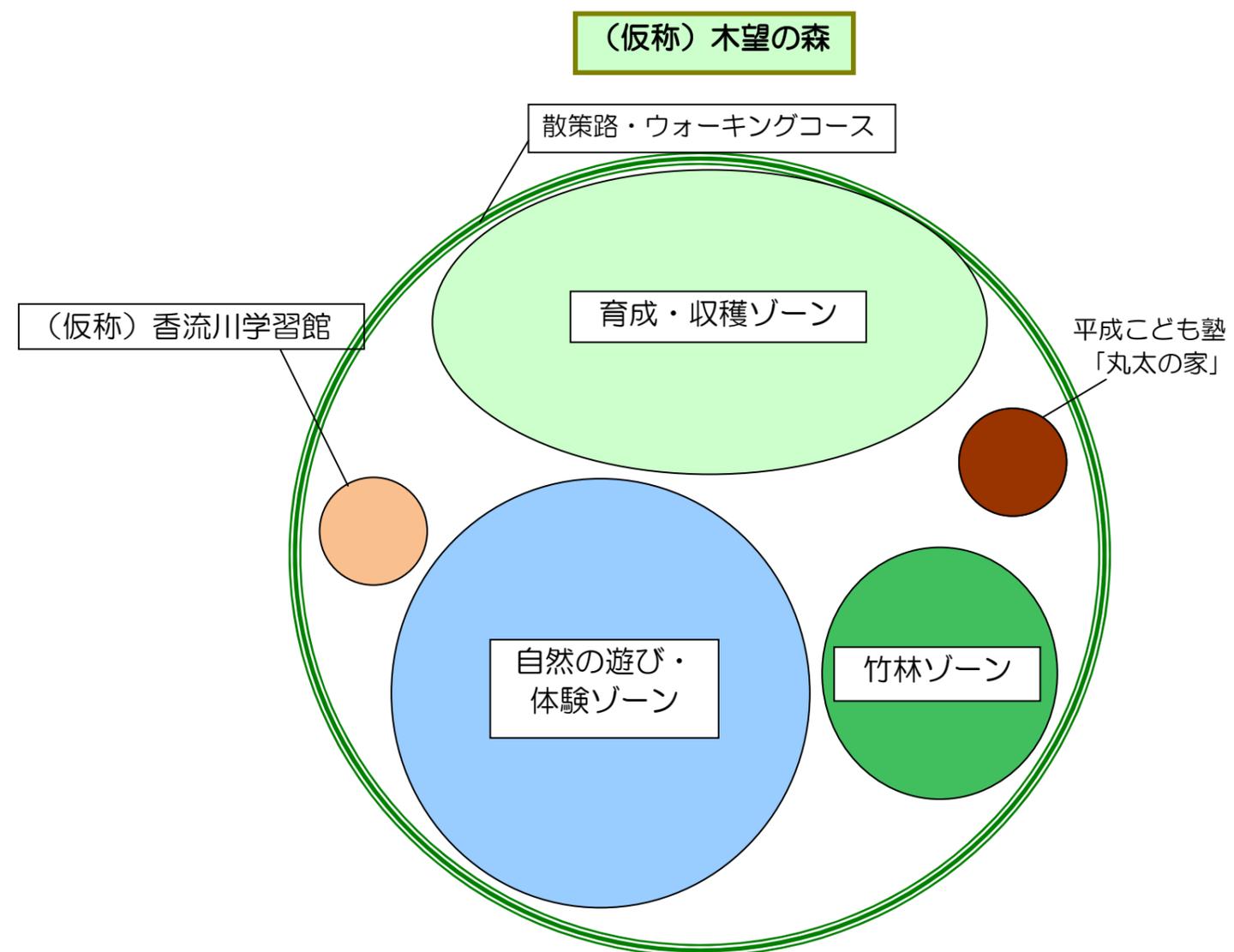
- ★自然学習施設「(仮称)香流川学習館」の整備
水中・水辺の生物をはじめ町内の生態系を学べる拠点
- ★「(仮称)木望の森」の整備
ゾーンを設定して森林や竹林を様々なことに活用
 - 自然の遊び・体験ゾーン
・自然観察・虫取り・水遊びなど
 - 竹林ゾーン
・間伐・たけのこ狩りなど
 - 育成・収穫ゾーン
・しいたけ、栗など
 - 散策路・ウォーキングコース
・各ゾーンの間をぬって散策路を設定

◎ (仮称)木望の森及び周辺のイメージ

平成こども塾周辺の森林や竹林を対象として区域を設定



(仮称)木望の森構想 イメージ



3 健康プロジェクト「(仮称)ながくてアクティブ構想」

◎構想の概要

健康スポーツ拠点「(仮称) スポーツターミナル」及び町内を巡るウォーキングコースを整備し、だれもがアクティブな生活を送りながら、楽しく日々の健康のレベルアップを図るスポーツ環境を創出します。

◎整備イメージ

- ★健康スポーツ拠点「(仮称) スポーツターミナル」の整備
 - 健康づくりセンター機能
 - ・トレーニング、健康・栄養指導など整備
 - 多目的スポーツ機能
 - ・総合体育館、グラウンドなど整備
- ★ウォーキング・ジョギングロードの整備
 - コースのメニュー例
 - ・お散歩コース（短距離）
 - せせらぎの径、杵ヶ池公園
 - ・エクササイズコース（長距離）
 - 香流川、長久手の戦い、リニモ沿線周遊、里山散策
 - コースを設定するにあたっての要素
 - ・サインの設置
 - 楽しさの付加
 - 例1「小牧長久手の戦い」の往復約30kmを制覇
 - 例2「マラソン」の42.195kmを制覇
 - 例3「カロリー消費量」の表示
 - 休憩施設の整備
 - ・トイレ、あずまや

(仮称)ながくてアクティブ構想 イメージ

